

製品名: P300/CBP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86527**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:200-1:500, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:264 kDa; Observed MW:300 kDa

抗原情報

遺伝子名	P300/CBP
別名	p300; KAT3B; MKHK2; RSTS2
遺伝子ID	2033
SwissProt ID	Q09472
免疫原	ヒト P300/CBP の組み換えタンパク質

背景

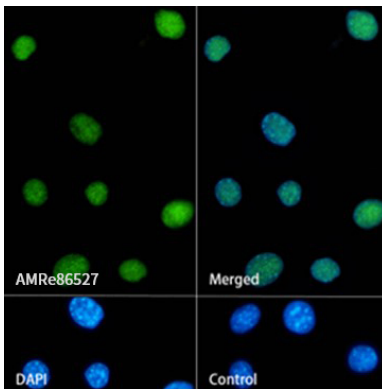
この遺伝子は、アデノウイルス E1A 関連細胞性 p300 転写共活性化タンパク質をコードしています。ヒストンアセチルトランスフェ

ラーゼとして機能し、クロマチンリモデリングを介して転写を制御し、細胞増殖および分化の過程において重要な役割を果たします。リン酸化 CREB タンパク質に特異的に結合することで、cAMP 遺伝子の制御を媒介します。この遺伝子は、HIF1A (低酸素誘導因子 1 α) の共活性化因子としても同定されており、VEGF などの低酸素誘導性遺伝子の刺激に関与しています。この遺伝子の欠陥は、ルビンスタイン・ティビ症候群の原因の一つであり、上皮癌にも関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



P300/CBP ウサギモノクローナル抗体を使用して P300/CBP を標識した NIH/3T3 細胞の免疫蛍光分析。